

2022年8月4日

各 位

マーベラス、ジー・モード、room6

インディーゲームにおける3社包括的業務提携のお知らせ



株式会社マーベラス（代表取締役社長：佐藤 澄宣／所在地：東京都品川区）及び子会社である株式会社ジー・モード（代表取締役社長：加藤 征一郎／所在地：東京都品川区）、株式会社room6（代表取締役：木村 征史／所在地：京都市左京区）は、この度インディーゲームにおける包括的な業務提携契約を締結いたしましたのでお知らせいたします。

近年ワールドワイドに注目されているインディーゲーム市場に対して、マーベラス及びジー・モードはかねてより、ゲームタイトルのパブリッシング、マーケティングなど多岐に渡って積極的に展開してまいりました。特に、マーベラスにおきましては、2020年11月に発売し、ミリオンセラーを達成した『天穂のサクナヒメ』はもとより、それ以前より海外子会社を通じて米国や欧州地域のインディーゲームタイトルをピックアップし、コンシューマタイトルとして発売してきた実績を持っております。また、2021年2月に発足させた『iGi(イギ) indie Game incubator』は、ゲームクリエイターの育成を目的としたインキュベーションプログラムであり、既に2期に渡ってプログラムを実施し、選出されたゲームタイトルを市場に送り出しております。また、「産・官・学」の連携体制の構築も推進しています。

今回の3社による業務提携は、マーベラス、ジー・モードによる、room6が企画開発するタイトルへのマーケティング、パブリッシングのサポートに加え、room6への財務支援、経営支援、及びroom6が権利保有するコンテンツへの優先交渉権に至る包括的なものとなっております。

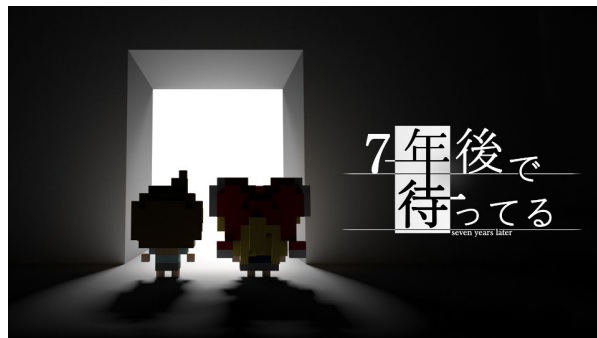
今回の3社業務提携を契機に、マーベラス及びジー・モードは、インディーゲームへの取り組みを更に強化してまいります。

株式会社room6は、2010年より京都出町柳で活動している企業であり、インディーゲーム開発／パブリッシングをはじめとし、スマートフォン向けや家庭用ゲーム機向けのゲーム開発の他、受託開発、デザイン業務等も行っております。同社は現在、国内で注目される個性豊かなインディーゲーム・クリエイターと密接な関係を有しており、プロモーション・開発を支援するとともに、自らもインディーゲームの開発を積極的に推進し、その企画力・開発力は高い評価を受けています。

具体的な支援タイトルとして、2021年第24回文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門の新人賞を受賞したアドベンチャーゲーム（以下、ADVと略）「アンリアルライフ」や、スマホ向けADV「7年後で待ってる」、Android/iOSアプリ・Nintendo Switch™版「World for Two」、直近では2022年4月にAndroid/iOS用ADV「幻影AP-空っぽの心臓-」をリリースするなど、個性的でクオリティの高い作品の開発者をプロモーション面・技術面で支えながら、インディーゲーム市場において多くの固定ファンを獲得しています。



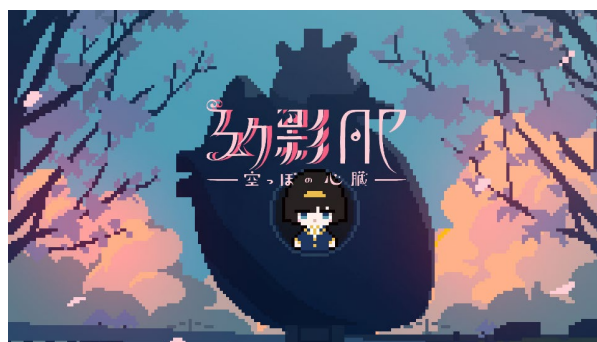
© hako 生活



© fumi



© Seventh rank



© Harumaki Gohan

8月6日・7日に京都市で開催されるインディーゲームイベント「BitSummit X-Roads」におきましては、マーベラスは「iGi」がスポンサーブース出展、米国子会社Marvelous USA（ブランド名：Xseed）及びジー・モードがそれぞれゲームタイトル出展、room6も「ヨカゼレーベル」でスポンサーブース出展を予定しております。

また、ジー・モードブースにおいては、room6との共同開発タイトル「OU」を出展いたします。



© G-MODE Corporation

公式サイト：<https://gmodecorp.com/cs/ou/>

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社マーベラス コーポレートコミュニケーション本部 経営企画部 E-mail: [ir@marv.jp](mailto:ir@marv.jp)

以上